



# 県内主要産業の動向

2018年5・6月

◎順調 ○まずまず ◐やや低調 ●不調

業種	景況			コメント
	18年4月	18年5月	先行き	
金属洋食器	●	●	→	受注は依然として低調。大口の受注が少なく、ホテルや飲食店向けの業務用が伸び悩む。個人向けも消費者の節約志向などから盛り上がり欠ける。そうした中、外注先の職人の不足等が顕在化。一部では、研磨事業などの内製化を進める動きもみられるが、人材の確保が課題となっている。
金属 ハウスウェア	●	●	→	受注は用途により明暗が分かれる。都市部でホテルの建設ラッシュが続く中、一部の施設ホテルなどから厨房関連製品の受注がみられた。一方、これまで好調だった輸出向け製品には、やや一服感が出ている模様。そうした中、原材料費等の上昇を受け、製品に価格転嫁する動きもある。
作業工具	◐	◐	→	国内販売は、春の需要期が過ぎ生産、販売共に一服感。建築関連工具、各製造工場でのトルクレンチ需要などは堅調な動き。輸出は、業者ごとに差はあるが、東南アジア向けを中心に堅調。鋼材価格の再上昇や人手不足が及ぼす受注への影響もあり、製品価格見直しに踏み切る業者も。
電子部品 ・デバイス	○	○	→	受注は総じて好調。半導体関連では、半導体素材の受注が堅調に推移。電子部品関連では、半導体製造装置向けは好調だが、スマホの販売不振を背景に携帯端末向けは弱含みの動きが続く。先行きは、ハイテク製品に係る米中摩擦の動きもあり、慎重にみる向きが多い。
鋳物	○	○	→	受注は好調を維持。自動車関連、工作機械関連の需要が引き続き高水準で推移している。一方、半導体製造装置は、スマホ需要に停滞がみられるが、代わって車載機やPCサーバーなどが伸びている。繁忙期は当面続く見通しであり、人手不足が受注面の課題となっている。
金型	○	○	→	これまで堅調に推移してきた受注に一服感がみられる。自動車関連は開発サイクル長期化の影響などで減速気味。見積依頼は相応にあるものの契約率は伸びず。建築関連では、ビル用は堅調ながらも家庭用などは弱含み。先行きは、横ばいが続くともみる向きが多い。
一般機械	○	○	↗	国内は自動車、航空機、鉄道が好調を維持、金属素材も回復。米国も航空機が引き続き好調、中国は増加速度は落ち着くが高い水準を維持。5月単月受注も好調に推移し、設備増設の計画も聞かれる。主要部品不足は変わらず、解消時期も不明なことから、輸入調達も活用して対応。



業種	景況			コメント
	18年4月	18年5月	先行き	
絹織物	●	●	→	十日町産地では、受注は総じて低調。展示会等の催事も少なく、盛り上がりには欠けた。五泉産地では、主力の白生地の生産量が前年を上回ったが、依然として水準は低い。両産地とも、重油や生糸など原材料費等が上昇しているものの、製品への価格転嫁は進まず、収益圧迫要因になっている。
合織織物	●	●	→	秋物生産は終盤。同一産地内でも、端境期入りした先と追加受注のある先で明暗が分かれている。収益面では輸送費の上昇がネックとなっており、今後は価格転嫁の交渉がポイントに。そうした中、栃尾産地では今春の首都圏での展示会で好感触を得て、フォロー営業に努めている。
ニット	●	●	→	5月の受注は前年割れ。低温・多雨の影響で店頭の売上が落ち込んだことで、アパレルからの受注が伸び悩んだ。加えて、受注は短納期で小ロットの割合が高いため、生産効率が低く利幅も望めない状況。そうした中、五泉産地ではグラフィックデザイナーとのコラボ作品展を開催、技術力の高さをアピールした。
木工家具	●	●	→	業務用は、見込んでいた夏場商戦向け受注に動きがなく、散発的な小口受注にとどまる。資材価格の上昇も引き続き採算面の懸念材料に。家庭用は、売上確保に依然苦慮。組合は、例年開催するイベントのリニューアルにより製品PRを図る考え。一方で、経営規模を縮小する業者もみられる。
清酒	●	●	→	5月の出荷量は、県内向けが伸び悩み、全体で前年を下回った。酒類別では、普通酒が不振。販路別では、飲食店向けで弱い動きが続くほか、スーパー向けも伸び悩んでいる。足下では、各酒蔵とも夏向けの季節限定商品や発泡清酒などを投入し、消費者の需要喚起に努めている。
米菓	◐	◐	→	5月の売上は前年を下回った。前年のポテトチップス需要の反動減のほか、行楽需要も盛り上がりせず。足下でも、需要が落ちる夏場を前に売上・生産とも盛り上がり欠ける。そうした中、各社とも新商品発売により需要を喚起。一部に生産現場の人手不足から設備投資を行う動き。
建設	◐	◐	→	公共工事は、国や県、独立行政法人等の発注増を受けて増加基調。前年度補正予算や今年度当初予算分の発注が進んでいる。民間工事は、小規模工事主体であるが、製造業、卸・小売業などに動き。住宅建設は、持家に回復の動きがみられるが力強さに欠ける。
大型小売店	◐	◐	→	5月の売上は前年を下回った。青果価格の下落や前年のビール値上げに伴う駆け込み需要の反動減に加え、天候不順でゴールデンウィークが盛り上がりせず。足下は、気温上昇やセールなどにより夏物衣料に動き。父の日は前年並み。そうした中、百貨店は催事開催で需要喚起に努める。